

## 2 蒸気船でいらっしやい

車輪状の推進器を両翼に付けた外輪蒸気船が利根川を就航するようになったのは、明治4年(1871)です。その姿が人気だったことから、利根川筋の船主たちは競って蒸気船を導入して貨客輸送を始めました。通運丸、銚子丸、信義丸、盛運丸などの船名の蒸気船が利根川を行き来したのです。

しかし、乱立による旅客の奪い合いは、共倒れの危機を招き、利根川下流域では明治14年(1881)12月に銚子汽船株式会社が設立されます。

江戸川から利根川下流にかけての水運は、内国通運会社と銚子汽船株式会社の両社が担うこととなりますが、やがて蒸気船にとって最大のライバルが出現することになります。

明治30年(1897)、総武鉄道が本所(錦糸町)から銚子まで成東経由でつながります。蒸気船で18時間だった東京-銚子間が、わずか5時間で結ばれることになったのです。そして蒸気船は、鉄道不通区間の運行に活路を見いだすこととなります。



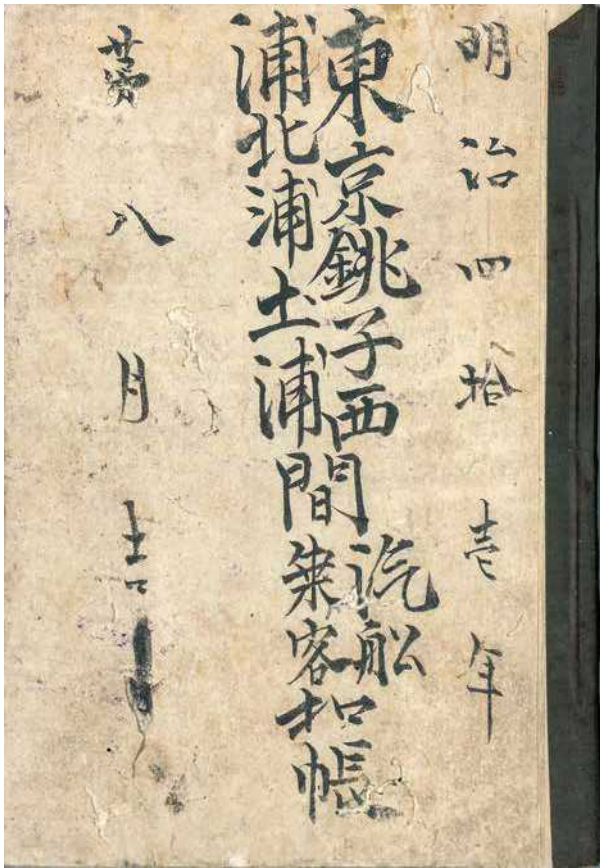
23.東京両国通運会社川蒸汽往復盛栄真景之図 明治



22.内国通運株式会社社旗(高田分社) (明治)

郵便事業を創設した前島密ひそかが発案したと伝えられている。





香取鹿島週遊汽船 発船時刻及乗客運賃表

○ 發着時刻

一 佐原 毎日 午前十時 伊予丸汽船株式会社

一 津ノ宮 毎日 午前十一時 伊予丸汽船株式会社

一 大船津 毎日 午前十二時 伊予丸汽船株式会社

一 潮来 毎日 午後二時 伊予丸汽船株式会社

○ 乗客運賃

往	乗客	運賃
佐原	一等	二五
佐原	二等	一五
津ノ宮	一等	二〇
津ノ宮	二等	一〇
大船津	一等	一五
大船津	二等	〇五
潮来	一等	一〇
潮来	二等	〇五

明治三十七年七月一日

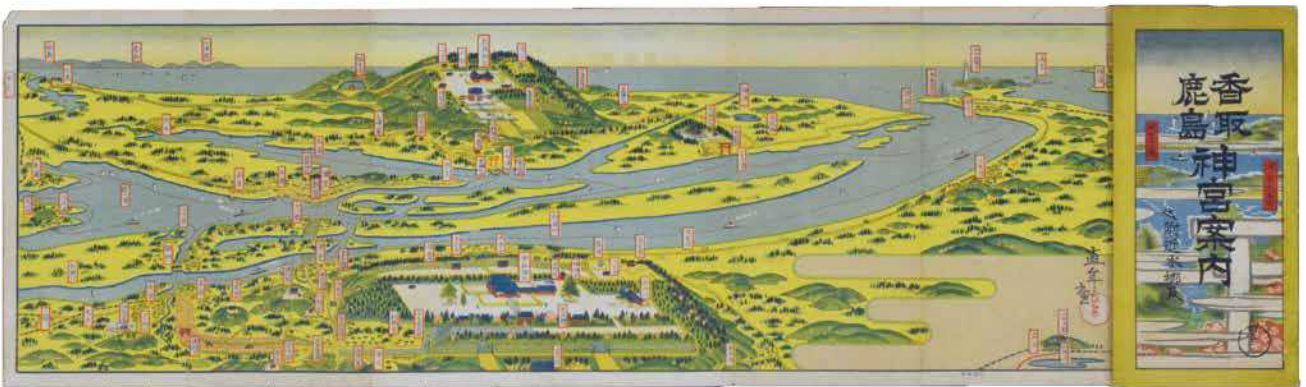
内國通運株式会社深川支店  
銚子汽船株式会社

14.香取鹿島週遊汽船(佐原潮来間)発船時刻及乗客運賃表 明治37年(1904)

鉄道の便がない香取鹿島方面への参詣・周遊客へ案内も兼ねて配布したもの。

11.東京銚子西浦北浦土浦間汽船乗客控帳 明治41年(1908)

東京-銚子間のみならず、西浦(霞ヶ浦)や北浦方面の乗客も多く見られる。



18.香取鹿島神宮案内

水郷と香取・鹿島両神宮を案内するための鳥瞰図。佐原に鉄道が延伸された以降のもの。



19.水郷めぐり 昭和7年(1932)

水郷汽船株式会社は、ディーゼル機関を積んだ最新式の大型遊覧船は安全であると宣伝した。